

石巻専修大学

「石巻専修大学ホームページ」
http://www.senshu-u.ac.jp/shinomaki/

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

学生会館2階に「ヤマザキショップ」がオープン 利便性も味もグーッ



をみせている。

同店は学生生活支援の一環として、これまで売店だったスペースを新装。石巻地方の施設内などで売店を経営する株式会社マックス(東松島市)が運営する。

明るく広い店内にはイートインコーナーも併設。弁当、おむすび、飲

▲開店前のテープカット

料、日用品、雑誌など約3500種が販売される。本学の購買部の役割も果たすため、教科書や参考書、文房具も取りそろえている。また学生だけでなく、地域の方も利用できる。

営業時間は平日が8時30分～20時、土日祝日が10時～15時。サークル活動、研究や資格取得講座などで帰宅が遅くなる学生や、休日に登校する学生にとっても利便性の高い施設だ。

利用する学生からは「品ぞろえが豊富。ケーキやドーナツなどのスイーツも手頃な価格でおいしい」「いろいろな電子マネーも使えて便利」などの声が寄せられている。開店に先立って行われたオープニングセレモニ



▲オープン初日のにぎわう店内

1月13日、学生会館2階に「ヤマザキショップ」がオープンした。初日から多くの学生が利用し、大盛況

学生たちの「プレアツリズム」

学生たちのNPO法人

県知事から「地域限定旅行業務」登録



中心メンバー。右から荒川さん、三浦岳史さん(4年次)、佐野友美さん(4年次)、大宮さん

経営学部経営学科のまちづくり観光コースで学ぶ学生たちが立ち上げたNPO法人「プレアツリズム」が昨年11月、県知事から「地域限定旅行業務」の登録を受けた。

同法人は大森ゼミ(指導・大森信治郎特命教授)の学生を中心に2014年3月に設立。観光を復興・地域活性化に結び付けることを目的に、大学で学んだ知識を生かして、復興に取り組む企業や団体と協働して活動を行う。法人名の由来は英語の「プレア(Pleat)

「祈り」。石巻を訪れる地域に貢献する事業を展開し、石巻で暮らす人双方の祈りを結ぶ懸け橋になりたいという学生たちの思いが込められている。

4月から新代表となる菊池省吾さん(3年次・岩手県専大北上高)は「現在取り組んでいるツアー作りを進めていき、石巻の観光をより盛り上げていきたい。また、先輩たちが築いてきた土台をさらに固め、次の代へつなげていきたい」と意気込みを語った。

同NPOの活動やツアープランについてはホームページ(http://dareit.com/)、Facebook(www.facebook.com/plea)で見ながら意見交換を行い

難関を突破

簿記検定1級 矢内さん合格



矢内孝史さん(経営4年次)は入学後、石巻専修大学で簿記検定1級に合格した。今回の実

「勉強中は何度も心が折れそうになりましたが、サークルの仲間や先生からの指導のおかげで合格することができました。講座では先輩を指導する中で、教えることが大切を学びました」と話した。

サバだしラーメン 振る舞う



▲出来立てのサバだしラーメンを提供する早坂さん(右)

経営学部・石原慎士ゼミが開発し、販売に携わる「石巻・飯野川発サバだしラーメン」が専修大学法学部の学生に振る舞われた。

専大・神田キャンパス

1月28日、神田キャンパスで行われた専修大学の「法学部定期試験打ち上げフェスタ&『サバだしラーメン』のコラボレーション」に石巻専修大学から石原教授とゼミ生の叶壽樹さん(4年次・宮城県明成高)、早坂駿輝さん(4年次・宮城県東北工業大学高)が参加した。

第一部の講演は「サバだしラーメン物語」と題し、



▲「おいしい」と顔を合わせてニコニコ

修学旅行高校生に被災地の姿伝える

復興共生プロジェクト

被災地域の防災と復興に関する事業を行い、復興を担う人材の育成を目的とした「復興共生プロジェクト」は、幅広い取り組みを行っている。

12月25日には、宮城県で行われた「石巻市南浜地区復興記念公園の基

2014年度(平成26)の学位記授与式(卒業式)は次の通り実施します。終了後には卒業生の旅立ちを祝う「卒業を祝う会」を開催します。各種飲食物も用意。移動にはバスをご利用ください。

授与式と案内